

びふか

議

会

です  
こんにちは

2004 / 1

第48号

この議会広報誌は再生紙を使用しています



### COMカレッジ110美深大学と小学生との交流

主 な 内 容	第4回定例会	条例改正・条例廃止・補正予算・人権擁護委員推薦～	2～3P
		平成14年度各会計決算の認定	4P
		平成14年度水道事業会計決算の認定、意見書	5P
		一般質問 8氏が登壇	6～11P
		議員投稿～林議員	5P
		上川管内議員研修会	11P
		第4回臨時会 ～条例の改正・補正予算～	12P
		函岳のめ、市町村合併問題調査特別委員会のまとめ～	13P
		委員会レポート	14～15P
		20歳のメッセージ 阿部 哲也さん・石谷 美香さん	16P

# 第4回定例会

## 特定目的基金の整理統合

### 8基金を廃止し5基金に統合

平成15年第4回定例会は、12月16日から19日の4日間を会期として開催され、町長から「牛ウィルス性下痢・粘膜炎」と「市町村合併問題」の2件の行政報告がなされたのち、「美深町基本財産基金の設置、管理及び処分に関する条例等の廃止について」ほか6議案、認定2件、意見書1件、承認1件がそれぞれ審議され、いずれも原案どおり可決した。  
なお一般質問には8名の議員が登壇した。

#### 条例改正・廃止

▽美深町地域福祉基金条例の一部改正について

基金の目的である「民間団体の行う事業の支援に要する経費の財源に充てるため」の制限を外し、町が実施する事業の財源にも充てることが出来るように改正した。

質問 この基金から民間への支援はどれだけの金額であったか。

財政課長 補助相手は、社会福祉協議会で額は今年で130万円である。

質問者 斉藤議員

▽美深町基本財産基金の設置、管理及び処分に関する条例等の廃止について

13ある特定目的基金のうち

ち8基金を廃止し5基金に整理統合した。

	基金の名称	14年度末残高	廃止基金	編入先
1	基本財産基金	51,958	廃止	公共基金
2	公共施設整備基金	178,446		
3	林業保養センター基金	25,679	廃止	公共基金
4	美幸線代替輸送確保資金	317,419		
5	まちづくり学習基金	102,569	廃止	減債基金
6	ふるさと振興対策基金	234,228	廃止	減債基金・COM100基金
7	河川環境保全基金	20,000		
8	土づくり基金	133,767	廃止	減債基金
9	地域福祉基金	141,359		
10	生涯学習施設整備基金	-	廃止	-
11	文化会館COM100運営基金	52,084		
12	ふるさと水と土保全基金	10,466	廃止	減債基金
13	土地開発基金	143,933	廃止	公共基金

質問 ふるさと振興対策基金等どのような割合で積み替えるのか。

財政課長 ふるさと振興基金はCOM100基金に5

千万円、残りを減債基金に編入する。

質問 13基金を5基金に統合する理由は。

助役 利子を活用し事業に充てるのが大半であるが今の金利は低い状況にあり、統合して有効に活用する考えである。

質問 行財政改革をやるなかでの一気の統合であるが目的がどこにも無くなってしまうのでは。

助役 4・5年の財政危機をどう乗り切れるか、減債基金から借金の部分を出すことにより一般財源を振り向ける対応もできる。

質問 近隣町村では19の基金を一本化した所もあるが。

財政課長 投資的事業目的の基金は公共施設整備基金

に統合、財政調整基金には積立限度額があるので減債基金に統合する。

質問 市町村合併を背景に整理統合という考えがあるのか。

助役 合併とは関係なく、これからの財政運営をどうするかという現時点での判断である。

質問 土づくり基金の補助がもう1年延びれば基金は残したのか。

助役 基金がなくなるからといって土づくりを後退させる考えはない。

質問者 倉兼・諸岡・岩崎・斉藤・酒井・林・越智・南議員

#### ◎討論

倉兼議員、岩崎議員から「まちづくり学習基金・ふるさと振興基金・土づくり基金など一部の基金については、目的基金として残すべき」と反対討論がなされ、続いて諸岡議員からは、「基金を集約することによって有効活用できる」とした賛成討論がされ、採決では、賛成多数で原案どおり可決された。

▽職員の旅費に関する条例の一部改正について  
車賃の額を1km当り37円を26円に改正、旅費は特別職などの区分を廃止し、一般職並みに引き下げた。

▽美深町職員の特殊勤務手当等に関する条例の一部改正について  
廃棄物業務手当を廃止し、介護業務等従事者手当での引き下げの改正をした。

# 補正予算

## 一般会計

基金の統廃合により基金積立金が6億8938万2千円で総額6億4676万7千円を追加し歳入歳出それぞれ57億3136万4千円とする。

主な内容は、厚生病院損失補助金、家畜防疫推進協議会補助金の追加、その他入札結果、事業費確定による減額である。

質問 ゴミ収集委託料で当初予算より806万円(28.7%)減額されているが積算に甘さがなかったのか。  
住民課長 町独自の人件費単価で積算したもので積算過大ではなく入札減による。  
質問 個店近代化事業の補助金が100万円ほど減額

されたのはなぜか。  
商工観光対策室長 14年11月までに計画を上げていた

だいて一定程度予算計上のため見積りで1500万円程度のものが上がっておりその後の実績による減額である。

質問 イベント参加の支援事業補助金の内容は。又、今後のあり方については。商工観光対策室長 イベント参加支援事業補助金は、参加団体12団体の予定どおりの参加を得ており実績により補助している。

イベント参加のあり方については、町内会自治会とも参加の意向調査を行っている。  
質問 他の町村で農業の不作による収入減で固定資産

税の減免制度を採用しているが、本町の対策は。  
町長 今年は大変苦勞の年

でしたが、共済金7800万円の支払いもあり農家経済は極端な落込みはなく減免措置はしない考えである。

質問 農業用廃プラスチック適正処理で、当初から見ると処理量は増えているが100トンの計画が常に余っているのもう少し力を入れた対策をしてはどうか。  
産業課長 毎年3回収集しているが、本年度から地域営農集約事業として実施している。

又、収集日を決定したなかで個人受け入れもしている。

質問者 斉藤・倉兼・諸岡・山口議員

## 国民健康保険特別会計

▽国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

今回の補正は、退職被保険者にかかる医療費の増による追加補正である。

歳入歳出それぞれ2000万円を追加し総額6億3613万3千円となる。

## 介護保険特別会計

▽介護保険特別会計補正予算(第4号)

保険事業勘定については、

福祉用具購入費と住宅改修費ならびに居室サービス計画費において利用者の増加が見込まれることからそれぞれ追加補正し、さらに、介護費用適正化事業により新たな介護サービスの情報提供を受けるパソコンシステムの整備費用を追加補正し、それぞれ4億3608万5千円となる。

介護サービス事業勘定については、職員の育児休業に伴い臨時介護員にかかる費用の追加補正である。その結果、歳入歳出それぞれ2億4776万3千円となる。



廃プラの収集作業



木下 芳 氏

## 人権擁護委員 木下

芳氏の推薦は

「適任」と答申

平成16年3月31日の任期満了に伴い、木下 芳氏を推薦することに議会の意見は「適任」と答申した。  
木下氏は平成13年4月より、2期目の就任。

平成14年度

# ＝各会計決算を認定＝

各会計総額

77億円

平成15年、第3回定例会において設置された「決算審査特別委員会」（山口 清委員長）は、11月4・5・6日の3日間開催、付託された一般会計・特別会計総額76億6千6百万円余の決算審査を行い、結果「認定すべきもの」と第4回定例会に報告、全会一致で認定された。

## 委員会報告の概要

一般会計ほか5特別会計77億5千4百万円余の予算は、住民生活と生産向上など住民に対する行政サービスの提供、また堅実にして計画的、並びに住民のニーズに応え、行政水準の確保と維持、その向上を目指した積極的な財政の運営であったかに審査の視点を置き、監査委員の意見も参考にしながら審査を行った。

審査を通して多様化する住民ニーズに応え、住民の生活向上、基幹産業の振興等に向け、財政の厳しい状況下にあつて、健全財政堅持に配慮し、行政サービスの提供に努められたと判断した。

財政関係指数について、経営収支比率は前年対比2・0%上昇、公債費比率も前年対比1・7%の上昇をみると、今後の財政運営にとつて厳しい状況になつて

また投資的経費は、前年比17・8%の減少であり、一般会計並びに5特別会計いづれも健全に運営されているという審査結果であつた。

財政環境が厳しい方向に向かうなか、財政構造の弾力性の確保に心配な面があ

り、次の2点について意見が付された。

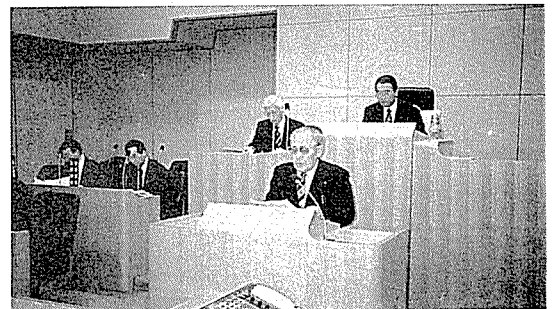
1点目は、事務事業委託のあり方についてである。

一般会計各款にわたり多種多様な委託料の支出がなされているが、町内経済停滞の状況のなか、雇用の面を含め、今後の委託のあり方について充分検討される事が必要である。

2点目は、一般会計における歳出不用額についてである。

経常経費の節減の努力、あるいは事業確定による不用額は年度途中において、投資的事業に振り向けるなど、町内の景気浮揚、雇用

対策に資するよう予算の効率的な執行を求めるところである。との意見を付し、「全員一致」で「認定すべきもの」と決定した。



山口委員長の報告

## 全 会 計

歳入総額 76億6,649万1千円

歳出総額 76億 960万7千円

(千円)

会計名	入ってきたお金	使われたお金	差 引
一般会計	5,349,673	5,281,063	68,610
国民健康保険	596,281	592,521	3,760
老人保健	732,034	747,520	-15,486
介護保険	664,228	664,228	0
簡易水道事業	52,941	52,941	0
下水道事業	271,334	271,334	0

# 安全で 美味しい水を…

## 平成14年度 水道事業会計 決算を認定

平成15年第3回定例会に産業建設常任委員会に付託され、11月20日委員全員出席のもと、決算審査を行い「全員一致」で「認定すべきもの」と、第4回定例会に委員長より報告され、「全員一致」で認定された。

住民の快適な生活に直結している水道事業は、常に清浄で安全な水を確保しながらも水源保全に努めてきたところである。

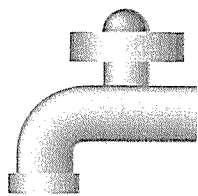
建設改良工事は、東2条道路の配水管移設と、北4丁目道路の配水管改良工事の2件、また浄水場機械整備、自動ろ過制御装置改良と計量法に基づく計量器取替工事を実施した。

財政面では、収益的収支で291万6769円が純利益になり、年度末利益剰余金については、2150万6542円となった。

資本的収支は2190万1362円の不足が生じた

が、この不足については、当年度消費税と資本的収支調整額60万6448円、過年度損益勘定留保資金389万1303円、減債積立金1740万3611円をもって、それぞれ補填した。

この結果、翌年度の繰越については、1億4721万8160円となるものである。



## 意見書を国に提出

### 季節労働者の冬期雇用援護制度に係わる意見書

平成15年度で期限切れを迎える冬期雇用援護制度は、国・道・市長会・町村会・業界団体・経済団体・労働団体のオール北海道による存続延長要請にも関わらず、8月末に大幅見直しの内容で厚生労働省概算要求がされた。

については、次の内容について特段の措置を講ぜられるよう強く要望する。  
①国において「対象年齢の設定」「冬期技能講習受講の適用除外設定」「講習助成給付金の大幅削減」など冬期間就労できない季節労働者の切捨てにならない制度の改善措置を行うこと。  
②国において、総合的な季節労働者対策を拡充すること。また、北海道が進める季節労働者対策に対し、重点的な支援措置を行うこと。

提出者 今泉常夫  
賛成者 村山 勲  
" 宮岡 久夫  
" 林 寿一  
" 南 和博

提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・厚生労働大臣

## 議員投稿



林 議員

### 『大晦日』

まもなく未年から申年に移り変わろうとする時刻、街中を歩いてみた。美深の街の大晦日に除夜の鐘の音が流れるようになってから、2度目になろうか。大善寺の住職を思い浮かべ、感謝の気持ちである。

暖かさを感じた。ある商店の前を通る、明かりのついた窓はひとつもない。もう寝込んだのか、ここにも息子さんがいたはずだが、帰ってこなかった様子、なんとも怪しい感がある。

なあと、何となく安堵を感じる。国の、永きにわたる縦割行政の性格を深め多様な補助金、負担金制度を創設、歪んだ自治体運営に追い込まれ、厳しい財政状況を生みだし、それにより地方分権を伴って地方自治体の行政能力の向上、効率的な体制の整備、確立が重要な課題となり、市町村合併、

ある住宅の前には管外ナンバーの車が駐車しており、窓からはこうこうと灯りが漏れ、家族団らん的笑声が聞こえてくる。ああ、この家は子供が帰って来て年越しをされているのだなと

歩き始めて小半時、人と出会う気配は何もない、少し先を見たらシャッターが半分開いている商店から光がこぼれ、中から声が聞こえる。この商店は後継ぎと年越しを楽しんでいるのだ

または広域行政の推進に走らされている。町の第4次総合計画に唱われて『住んでよかった。』『住み続けたい。』という文言を信じて生きるしかないのだろうか。



倉兼議員

質問事項

- 1、産業廃棄物の持ち込み規制について
- 2、構造改革特区の取組みと農用地の取得下限面積の緩和について
- 3、教育現場(幼稚園・小中学校)における救急対応について

# 質 問

## 不法投棄のない

### きれいな街に

質問 今秋、仁宇布地区の町有地に不法廃棄されようとした産業廃棄物の成分分析結果と、その後の経過と対応措置は。

今回は、住民の連絡によって未然に防げたが、民有地で起こった場合の対処法と町外から持ち込まれる産業廃棄物に対する住民の監視体制・持ち込ませない条例措置も必要ではないか。

## 条例化の必要なし

町長 仁宇布地区に産業廃棄物が持ち込まれようとした問題で、未然に措置が出来た事は、地域住民の通報によるもので地域の方々に感謝を申し上げます。

この件については、道と道警本部が連携し刑事事件として捜査中であり、現段階では結論が出ていない。内容は、強酸性物質と報告があったが、その周辺に滞留した水の水質検査からは、酸性値は検出されなかった。

これからも起こり得る問題行動処理について、産廃の不法投棄は産業廃棄物一切を含めた廃棄物処理法で制約されており、改めて条例措置は必要ないものと考ええる。ただ、不法投棄を土地所有者が承諾したとするなら行政上の指導は必要。

町として対応システムを構築しておく事が必要と思うが。

町長 これから起きない様な行政的対応は必要。現状、お年寄り対策と合わせて郵便局と契約して不法投棄に対しても町に連絡をいただく体制をとっているが、今後、十分対処する体制を考える。



仁宇布に不法投棄か



今泉議員

質問事項

- 1、平成16年度予算編成について
- 2、行政改革大綱に基づく推進状況について
- 3、市街地活性化基本計画の推進と対応について

## 人件費圧縮の方策を

質問 ①国が進める三位一体の改革によって明年度は地方交付税の見直し、更に補助金等を圧縮する方針が固まり、本町の財政事情は一層厳しくなることが予測されるが、第四次総合計画の推進、併せて16年度予算編成方針を伺いたい。

②市町村合併の財政シミュレーションに基づく住民説明会が行われたが、町民から人件費を圧縮できないか

との声を聞く。  
厳しい町財政を乗り切るためにも何らかの方策を執るべきでないか。

## 行財政改革で

### 経費節減

町長 ①ほとんどの財源を地方交付税や補助金等に依存した財政構造を踏まえたとき、総合計画の事業見直しが必要だが、16年度の予算概算要求が各課から出され、国が示す地方財政計画によって変わる要素もあるものの、新規6件・継続5

# 般



酒井 議員

## 質問事項

1、用悪水路の用地処理について

### 用悪水路の 用地処理は

質問 用悪水路の用地処理について、当時、その地域を担当していた職員に、不手際があったのではないかと質問をしたが、通告には、場所が入っていないので町長の立場から答弁するには資料が足りないもので、時間を貸してほしいとされていた。

平成7年にこの件について質問をした折「当時の地籍調査は、適確・公正に処理されたと思う」と答弁していた。

15年第3回定例会において、再度この件について質問したが、その折も「その地域の地籍は、目的にあるように、適確・公正に処理されたと思う」と、2度にわたって同じ答弁であったが、目的が重んじられていないのではないか。

町長 9月の定例会において、適正に処理された、と話をした、我々公務員は公正無私、住民の立場で行政をしなければならぬのである。



現地調査で確認した際、用悪水路は存在している。敷地は、個人名義であり、土地所有者の意向もあって隣地の宅地に合筆した記録になっている。

現況は、公共的な用悪水路になっていると報告をした。

質問 町長は不明瞭な答弁はしていないと言うが、現況が用悪水路であり、以前地番がついていたのが、実際は適正・公正に処理されていないのに問題はないか

件・縮小6件程の具体的な第一段階のヒアリングを終えたところ。

②人件費は経費節減の最大課題になることも事実だが、これまでも超過勤務手当・特殊勤務手当・更に旅費改定など段階的な行財政改革に取り組んでいる。

今後は、更に総体的な経費節減と財源確保に努めながら行財政改革を着実に進めたい。

### 基本計画の 継続協議は

と伺っているが、例えば敷地が宅地であっても公共的用地地番に残さなければならなかったのでは。

### 適切ではなかった

町長 結果的には不適切な問題があった。このことは、将来を考えると、公共的に残さなければ、例えば住民が不都合であっても、力をつくして説得すべきである。

説得しないから公共的のもが残らないのは良くない。

質問 中心市街地活性化基本計画、更にTMO設立に向けた協議が進行中と聞くが、市町村合併の法定協議会設立後の継続協議は。

### 法定協議会で 話合う事項

町長 中心市街地の概念は一市町村1カ所が原則、しかし、合併するとした場合は法定協議会で話し合う事項になると思う。

それは不適切であった。





越智議員

質問事項

1、農業振興策について

農地の受け皿対策は

質問 本町の農家の現況は後継者不足や高齢化、健康上の理由で離農、経営縮小を考える農家が急激に増加するとの調査結果がある。担い手不足は深刻であり、農地の受け皿対策は本町においても緊急の課題となっている。

不足する担い手の確保と遊休化が懸念される農地流動化(担い手集積)の支援をする農地の受け皿対策のシステムづくりが必要ではないか。

全町レベルで農用地利用計画を樹立

農業委員会会長 本町では農地が不足している地区もあるが将来的には農地が余ることが予想される。規模拡大にも限界があるので農地を農地として守るため、全町レベルの農用地利用計画を立て、農地の集積・有効活用に取り組み不耕作地の発生を防止したい。

これからの営農経営の在り方は

質問 政府が進める農政改革では、美深町の営農経営体も見直すことが急務となっている。

個別経営体で守られてきた本町の農業も、資金力や労働力、所得の確保や経営者の健康管理の面からも限界がくるのでは、と懸念される。

変革を求められる中での



山口議員

質問事項

1、新年度予算編成方針について ほか  
2、学校給食問題について

これからの営農経営体のあり方と育成推進方策は。法人化や大規模経営で

町長 後継者不足や高齢化の現況に対応して、生産者の意識改革も図りながら、農協とも十分協議して集団営農も視野に入れながら、法人化や大規模経営を育成推進し経営体質の改善を図りたい。

町村合併 住民の意向集約 について提案

質問 ①5日から開始されている住民説明会の参加状況と特徴点について。  
②和寒・剣淵両町のように町と議会が合併方向の案をまとめたうえで、住民にその是非を問う方法がベターではないか。  
町長 14ヶ所で開いた説明会は427名で、世帯数で見ると市街地で11%、農村部40%の参加率になる。充分時間をとって意見を出してほしいということだ



コンバインでの収穫作業

だが、難しい問題だけに活発に意見が出されたという状況ではなかった。  
発言される方はいろいろな問題点を指摘し、我々もなるほどといううなずける点もあった。  
来年早々に6市町村での説明会の経過報告と、このまま法定協議会にいくことがいいのかどうかについて協議することになっている。それまでに町としての考え方も示す必要があるが、





南 議員

質問事項

- 1、地域水田農業ビジョン策定の進捗状況について
- 2、家畜排せつ物法への対応について

担い手育成の

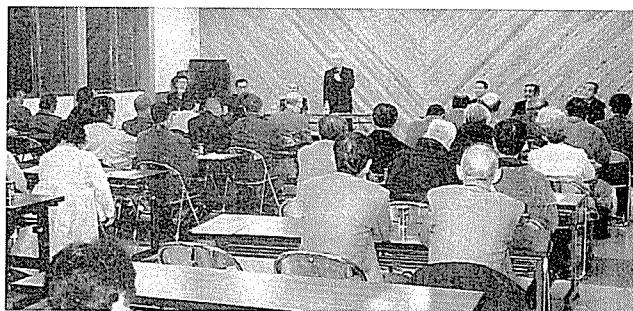
具体案は

質問 来年度からの米政策改革大綱のポイントは担い手の育成と小規模経営、高齢農業者対策をどう進めるかであり、美深町の独自性を農業ビジョンにどう反映するのか、さらに将来想定される担い手不足に対応する為にも新制度からの交付金を作業受託組織、法人化等の振興策に活用する必要があるのではないか、農業予算編成にも具体的なメニューを明示し雇用のできる経営体の育成を図るべきであり、それがまちづくりにもつながるのではないか。

共存できる

システムづくりを

町長 美深町地域水田農業ビジョンの素案では担い手の要件を面積、年齢、認定農業者等とし、さらに、要件を満たさない農業者も地域、そして水田農業推進協議会で認定されれば営農可能としているが、一応の暫定期間の中で担い手と担い手以外の農業者の共存でき



合併問題住民懇談会

るシステムを農協と相談して進めると共に営農意欲のある方が農業を続けていく方法を考える。

基本的には法人化、共同化の体制を作る必要性は同感であり、今後予測される農地余りの対策としても農地保有合理化法人を関係機関と協議して検討しなければならぬ時代に入った認識を持っている。

ふん尿処理施設

未整備者への対応は

質問 16年11月より家畜排

議会側とも十分に話し合ったなかで判断しなければならぬと考えている。

今のところ説明会での意見の内容からいって、問題なしとはみていない。

新年度予算は

暮らし優先に

質問 「町村の役割は地域住民の暮らしと福祉を守ること」と法に決められている。新年度予算の編成に充分心掛けてほしい。

せつ物法が完全実施される中、ふん尿処理施設の未整備畜産農家への対応策について伺う。

町長 現在、畜産農家85戸の内50戸が整備しているが今後の整備には町村会でも制度的に資金補助を強力的に要望している。

生産者の中には斑溪堆肥施設を利用し対応する意見もあり、より活用するよう農協と協議したい。

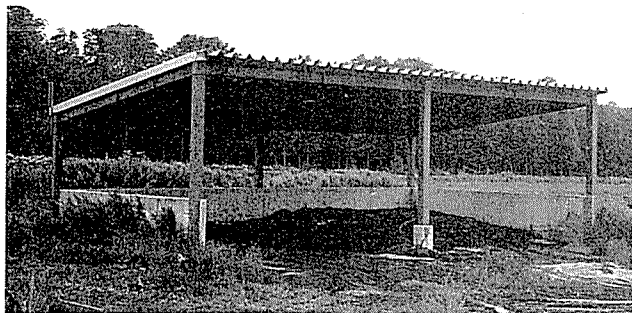
この法律で飼養中止や離農とならない方法を考えなければならぬ。

重点的に

予算配分考える

町長 自治の仕事は、住民の福祉と暮らしを守る2点に絞られるということは同じ考えである。

16年度予算は、総合計画どおりには組めないと思うが、重点的に予算を配分して編成したいと考える。



整備された堆肥舎



菅野 議員

### 分別ゴミの種類増と 今後の有料化は

質問 ゴミの分別については現在でもお年寄りの方には分別の方法が難しいと聞いている。

町長 来年から紙類の分別も加わり分別の数も増える。ゴミの減量化、環境衛生に伴い分別の徹底をしないとされるが、高齢化が進むなか分別の対応は。

町長 来年4月から紙類の分別も加わり、それぞれ増えてくる、特にお年寄りには大変だと思う、今後担当で見やすい手引きを自治会衛生部と連携しながら作成をし、役場職員が各会の活動の中に入りきめ細かく指導していかなければならないと思う。

質問 有料化については、町が示されている1世帯当たりの金額で収まるのか。  
町長 有料化については1月の臨時会に提案申し上げ説明をしていきたいと思っている。

#### 質問事項

- 1、ゴミ分別種類増に対する住民対応について
- 2、町の委託業務事業について
- 3、幼保一元化について ほか

### 「どうなる」

### 幼保一元化

質問 幼保一元化については、今年の春に町長、教育長の方針では平成16年4月から一元化を進めていくとの明確なお話がされたが今になってなぜ一転して一元化は厳しいというのか。

### 「幼保一元化は 先送り」

教育長 幼保一元化は平成16年度からと確かに説明したが11月末ごろ幼稚園では財政面が非常に厳しいため施設整備は先送りしたいと説明してきている。  
町長 幼保一元化については、数年来の行政の課題です。特区申請をしてもハードルが高い。  
幼保一元化に向け対策を進めるため、少し時間を貸していただきたい。

### 購買力町外流出の 実態と認識について

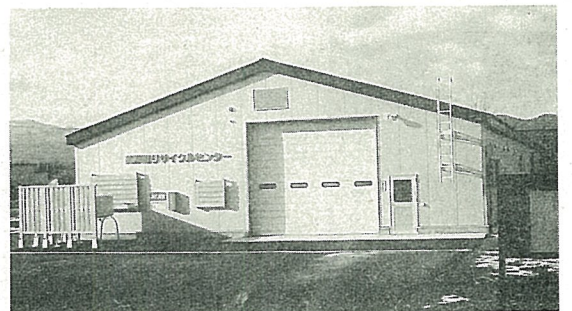
質問 地域通貨としての商品券の発行についての考えを伺う。最初に消費購買力町外流出調査速報値。この中で非常に驚くべき数字が出ているのだが、町外購買流出が63%、実際には37%ほどしか町内での買い物がないという数字が出ている。大変落ち込んでいるこの実態についての感想と、考えを伺う。  
町長 最近、特に顕著に現われてきていると思う。こんなに町外で買い物をして



岩崎 議員

#### 質問事項

- 1、庁内職員提案制度について
- 2、高齢者にやさしいまちづくりについて
- 3、地域通貨としての商品券の発行について



完成したリサイクルセンター

### 経済の底上げ

### 地域通貨導入を

質問 地域経済を底上げする有効な策、その一つの方策として『地域通貨』。これは大きな可能性のある中

いるというのは、いま資料を見てびっくりしたわけなのですが、おそらく半分位かなと思っていたのが63%ということになると、大変な数字です。やはり、これらの対策をどうするかということは、商店街の振興からも重大な課題であると認識している。

# 上川管内町村議長会

## 議員研修会



上川管内町村議員研修会が平成15年10月30日に旭川ニュー北海道ホテルで開催され、新たな試みとして町村議員5人が事例発表を行った。

当町議会からは倉兼議員が「議会運営の改革に向けて」をテーマに事例発表がなされた。

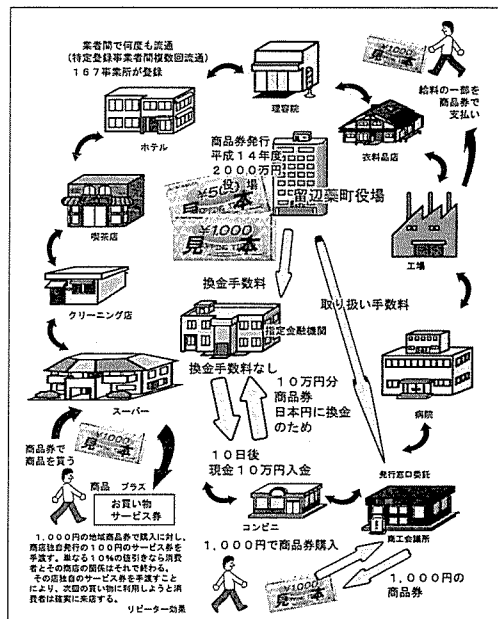
他町村議会からは、比布町議会は「町長及び教育長の執行方針に対する大綱質疑等について」、

上富良野町議会は、「議会運営の現状」、

美瑛町議会は、「議員研修と情報機器による議会公開について」、

風連町議会は、「議会広報の編集体制について」など、それぞれのテーマで発表がなされ町村議会の抱える課題や議会運営のシス

### 留辺蘂町地域通貨の流通経路



身である。留辺蘂町が始めている地域通貨の前身(複数回の流通ができる商品券事業)これは地域内にしか回らないから地域内でのデフレ対策

### 地域通貨は

#### 大変いい提案...

町長 地域通貨は大変いい提案だが、直ちにやるというところについて、まだ我々も自信を持って答弁できない。

経済対策に有効な部分がある。この大きな特色は、町が発行するという部分が重要な部分である。

制度としてお金の回り方だけを見ると質問のとおり地域経済には少なからず貢献するであろうが、ここで自信を持って検討するまでには至っていない。

テムづくりを研修することができた。事例発表後の日程では、千葉大学教授大森彌氏を講師に「市町村の再編と町村自治のゆくえ」をテーマに講演を聞いた。市町村合併が検討されている時期でもあり、熱心に研修している議員の姿が印象的であった。

## 議会を傍聴しましょう

平成16年第1回定例会は、3月中旬に開かれる予定です。

# 職員給与 5年連続引き下げ

## 第4回臨時会

(会期 11月25日 1日間)

### 承認

#### ▽専決処分報告

一般会計補正予算(第5号)について、地方自治法の規定により専決処分したので、これを報告し承認を得た。

この補正予算は、10月28日告示、11月9日施行された衆議院議員選挙ならびに最高裁判所裁判官国民審査にかかる所要経費680万円の追加補正である。

### 条例改正

▽職員給与に関する条例の一部改正について

今回の改正内容は、基本給の引き下げ(平均1・07%)・期末手当の引き下げ(0・25月分)・扶養手当の見直し(配偶者500円引き下げ)・通勤手当の見直し・昇給停止年齢の見直しの議案が提案され全員賛成で原案可決された。

質問 職員組合との協議内容と交渉状況について組合からの要望事項はなかったか。

か。

助役 職員組合との協議経過としては、断固反対するのが基本的なスタンスですが、自治体のおかれている立場と町の財政を判断してもらい100%とは言えないまでも理解していただいた。

質問 特別職の改正については、管内の動向を見て必要があれば来年度から考えていきたいとの話であるが、町の現状を踏まえて考えるべきではないか。

町長 従来ともに特別職の報酬については、国家公務員の給与改正と一緒に改定しているという考えではない。

質問 55歳から昇給ストップすると言いつつ「勤務成績が特に良好である者」については昇給があると言いう事だが、それを評価する制度を作っておく必要があるのではないか。

町長 55歳昇給ストップという原則は組合に了解してもらい、そのあとの取り扱いについては今までの経緯を踏まえ暫時変更していくという考えも入れながら、

こういう条文を入れた。

勤務成績をどう判断するかは、客観的に見て公正でなければならぬと思うが、今後各町村とも話し合いながらきちんとした評価制度を検討していく必要があると思う。

質問者 山口・藤守・越智議員

### 補正予算

収入役制度廃止と給与条例改正により、各会計ともに人件費相当分の減額補正である。

▽一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出にそれぞれ3千800万円の減額。

▽国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出にそれぞれ55万6千円の減額。

▽介護保険特別会計補正予算(第3号)

保険事業勘定の歳入歳出にそれぞれ20万4千円の減額。

介護サービス事業勘定の歳入歳出それぞれ473万

6千円の減額。

▽簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ16万3千円の減額。

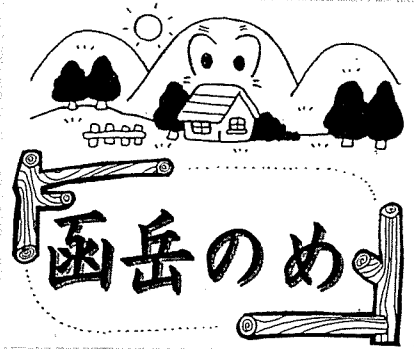
▽下水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ25万6千円の減額。

▽水道事業会計補正予算(第1号)

収益的支出の予算額を、42万6千円減額。





# 合併問題 あれこれ

民主政治・議会政治とは、何であろうか、長い歴史のもとで発達した人類の知恵で、人間尊重による遺産であると言われている。住民と議員のたゆまぬ忍耐と努力、民主的な心をより高め、子孫に伝えていく事は、我々議員の重要な責務である。地域における議会と住民の結びつきは信頼関係のなかで、より成熟し民主化される、議会活動の使命は大き

く民主政治の基盤を左右する。

地方分権が今日大きくとりあげられ、「住民参加」「選択」「創造」で対応することが基本的な考え方と言

う。まちづくりは住民が支え、「住民が自ら責任をもって行政に参加し、これを批判し、監視する態勢を築きあげることもある」。

市町村合併問題は、議会として議会制民主主義のもと「意思決定機関」であり、住民の意思を代表して合併の是非を決めることになる。

平成15年6月第2回定例会で「市町村合併問題調査特別委員会」が設置された。「合併ありきでは無いが」

合併に対する調査を本格化すべきとの思いであり、「我が町で自立(自律)したまちづくりは可能か」「広域行政での存続が出来ないか」「市町村合併を選ぶべきか」の3通りが考えられた。

6月30日上川北部5町村任意協議会を設立したが名寄市との協議を望む声があり9月30日には、名寄市の加入決定、上川北部6市町

村任意合併協議会と名称を変更し、「基本原則」の統一見解について確認した。

一方で「単独で生き残ることが出来るか」で、9月18日に町の財政シミュレーションの説明を受け、11月10日町側・議会で住民投票制度について協議した。

任意協議会でまとめる資料に基づいての住民説明会が各市町村で開催された。住民生活に関わりの深い17項目等が資料で出された。

11月13日に第27次地方制度調査会最終答申が出た。心配の小規模自治体人口1万人未満についてはただし書きで、「人口だけでなく、地理的条件や人口密度、経済事情の他、現行合併特

例法のもとで合併を行った経緯についても考慮」となる。

12月19日11回目の特別委員会、全町14会場での市町村合併問題住民懇談会の総括とまとめがされ「小規模な合併をめざすべき」とし枠組みの再編必至の情勢である。

## 特別委員会のまとめ

### 市町村合併に対する考え方

『小規模な合併をめざすべき』  
尚、共通行政課題については、行財政改革の面から広域行政の研究が必要である

### 理由

○町民懇談会14会場における意見として、全会場において小規模の合併を望む声が多く出された。(単独は極少数・5又は6市町村合併を望む意見は皆無)

○地域分散型の地域自治組織としても、平準化後は、行政の一極集中化による地域過疎化の進行が懸念される。また、産業構造の類似した自治体の合併が望ましい。

○自治体として6市町村任意合併協議会の範囲では、一つの県より広い行政面積となるため、住民に身近な基礎自治体としての役割を果たせるか疑問である。  
(6市町村合併後の面積を下回る都府県 東京都・大阪府・神奈川県・香川県・佐賀県・沖縄県)

○道の財政シミュレーションの地方交付税からしても、合併規模が小さいほど基礎自治体住民一人当たり額が多い事は、地域経済にあたる影響も大きいと考える。

○地方制度調査会の最終答申において、現行特例法の下で合併を行なった経緯についても考慮するとしている。

○現段階では不明確であるが、道州制の検討もされており、基礎的自治体のあり方が問われるのではないか。

# こんなことを 調査しました

## 委員会レポート

### 総務常任委員会

調査月日 10月20日  
調査事項 美深町財政推計  
について

①算定の考え方の説明

歳入のうち、地方贈与税・利子割交付金・地方消費税交付金・自動車取得税交付金・地方特例交付金は17年度から32年度まで固定した数値を使っている。

普通地方交付税のうち、平成13年度から平成15年度間措置されていた振替分の臨時財政対策債は、総務省の考えとして当分の間継続するとしているので16年度以降の積算に計上し、町財源の手数料、使用料のうちゴミ有料化は今後の財源として見込めるが計上はせず、繰入金はソフト事業充当分を見込んでいる。

投資的経費は債務負担行為を含めて、一般財源総額の20%を見込み歳入に関連する地方債、国・道支出金の所要財源を計上。義務的経費のうち、人件



費では複数人退職時に1人採用とし、平成15年度対比平成32年度には一般会計に属する職員は82人で32人の減員を見込んで計上しており、その他経費、物件費、維持補修費、補助費は緩やかな減少としている。

②調査結果

財政の状況が厳しいなか  
にあり行政改革の一層の強化が必要。

特に職員数削減と人件費の精査、特別職・議員・各種委員等の報酬見直し、現業部門の民営化、委託料・需用費等の経常経費削減、政策補助金の見直し、経済動向に関連するが投資的経費の抑制、歳入については利用者負担を求めていくことも必要。

### 社会常任委員会

調査月日 11月21日  
調査事項 教育施設・文化  
振興について

①学校施設整備検討委員会  
の検討状況について

この委員会は、職域から推薦を受けておりその職務の遂行義務があり6月以降具体的構想がない点は再度委員会として検討を重ねるべきと思う。

学校施設は老朽化が見られ、改築に向け前向きに取り組むべきである。

(2)COM100自主事業運営委員会について

この委員会は一般公募7人と教育委員会職員4人の11人で運営されており任期は1年(4月改選)である。企画した委員が翌年4月に代わってしまうので同じ委員で執行できるよう委員の任期の見直しが必要である。

調査事項 幼保一元化について



調査結果と今後の課題

平成16年度より一元化に向けての取組みについては、検討していく機関として庁内にプロジェクト会議を設け、理事者と協議の結果、施設整備、教育内容、保育の形態など今後さらに検討が必要である。

特区認定にも課題が多く、大変難しい状況と聞くと、少子化時代に伴い財政面に対してもメリットがあると思われる。

早急に幼保の父母との懇談を検討する必要がある。

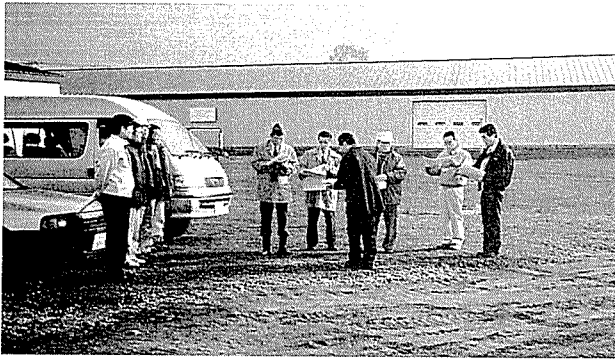
## 産業常任委員会 建設

調査月日 9月25日  
調査事項 農作物の生育状況調査

調査結果と今後の課題

農作物の生育状況は、天候不順などの原因により全体的に遅れの状況にあり、特に水稲は7月中旬から8月上旬の低温と不稔多発により収穫に大きな影響が生じる状況にある。

小豆については、6月下旬から7月上旬の少雨さら



に7月下旬にかけての低温により生育が遅れたほか、圃場・品種によって生育差が大きい。

デントコーンについては、低温の影響で生育が停滞し、平年より4日遅れの並。

てん菜は、6月下旬から7月上旬の少雨で生育が停滞したが、その後の降雨で生育は回復し根部の肥大良好である。

なお、平成15年に西紋地区が推進した「環境と調和したクリーン農業」の一環として実施されている交換耕作の推進に今後も期待したい。

調査月日 11月20日  
調査事項 美深東地区整備計画の進捗状況  
調査結果と今後の課題  
①環境整備事業の現況調査

当該地区の整備事業施工は、雇用対策の一環として町直営により10月24日を以って完了したが、当該地区内の美深森林組合に貸与している既存建物は老朽化し、周辺環境整備上からも改善策を指導すべきである。

②公営住宅の入居状況と本年度建設工事の進捗状況  
現在戸数276戸、入居者数256戸、ひまわり団地解体に向け政策的に21戸空家、公住西団地2戸、つくし団地1戸は現在募集中、本年度の東団地建設工事の進捗状況は町内業者5社で施工し11月28日完成予定である。

5棟全ての屋根が2寸勾配で施工、屋根の雪下ろしが必要で高齢者の入居は厳しい管理になる心配がある。

## 議会運営委員会

11月25日・12月10日・19日の議会運営委員会において、第4回臨時会に提出された職員給与に関する条例の一部改正、一般会計補正予算ほか5特別会計補正予算の議会運営の協議。  
第4回定例会に提出された、福祉基金条例の一部改正ほか9件の議会運営の協議がなされた。

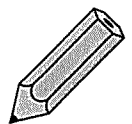
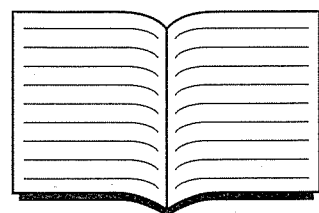
## 広報委員会

12月17日・1月6日・9日・15日。

第4回定例会に係る議会広報第48号の発行に向け、編集会議及び起稿・編集・構成の作業を行った。

## 市町村合併問題調査特別委員会

議会広報誌第47号で、市町村合併問題調査特別委員会の第6回開催まで内容を簡単に報告しているが、その後、幹事会を経て第11回の会議がもたれた。  
◎会議日程と協議項目  
10月2日 第7回開催  
・「基本原則」の統一見解  
・美深町財政状況推計  
10月15日 第4回幹事会開催  
・管外行政視察について  
11月7日 第5回幹事会開催  
11月27日  
・視察の広報特集号発行  
11月10日 第8回開催  
・住民投票制度協議  
・住民生活に関わりの深い17特定項目を説明  
11月18日 第9回開催  
・11月13日第27次地方制度調査会最終答申確認  
・美深町財政シミュレーションの擦り合わせ  
・住民懇談会の開催を14会場ですることを確認  
11月28日 第10回開催  
・懇談会資料で意見交換  
12月19日 第11回開催  
・住民懇談会総括及び特別委員会のまとめ  
(13ページに掲載)



# 20歳のMessage



恩根内自治会

石谷美香

新年明けましておめでとうございます。  
 年が開けままだまだ10代だと思っていた私も今年20歳になり、成人を迎えることとなりました。  
 20歳になったと言っても今までと何も変わらず、成人したという実感はあまりありません。  
 しかし、選挙の投票など今までは未成年ということできなかつた事ができ

## 二十歳を期に自立

るようになりその他でもこれからの生活の中で実践していけたらと思っています。  
 今までは、就職していると言っても親を頼りにしてばかりいたり、どこか甘えていた部分があり、自立できていませんでした。  
 これからは迷惑をかけてしまう事もあると思います

が成人を迎えた事をきっかけに自立し、自分が支えきれなれたらと思います。  
 そして、今まで以上に責任を持ち、仕事に私生活に頑張りたいです。  
 社会人として常識を持って恥ずかしくない大人になりたいと思っています。  
 最後に、今年も良い年である事を願っています。



第5町内会

阿部哲也

去年は仕事、私生活ともに充実し、あっという間に過ぎ去っていったような気がする。  
 たまには辛いときなどもあったけど、その後には必ず楽しいことが待っていて、その楽しかった時間が辛かった時間を忘れさせてくれたんだと思います。  
 そして今年も去年以上にいろんなことに挑戦しそしてもっと一日一日を仲間と

## 苦あれば楽あり

いる時間を大切にしていきたいと思えます。  
 去年出来なかつた事、やり残した事も。仕事も今年で3年目になるのでたくさ  
 んの経験を積み、もっともつとうまくなれるように頑張っていけたらいいなあと考えています。  
 そして成人を迎えて、こ

れでハタチ、大人になるんだと思うと、うれしい反面なんというか責任感みたいなものを感じます。  
 とにかく今年は、去年以上に、今まで以上に良い年に、そして自分も大きく成長できるようにまた1年頑張っていけたらいいなと思っています。  
 今年もどうぞよろしくお願いたします。



## 編集後記

議会における活動状況を住民の皆様へ報告する議会広報の編集もこの広報誌の発行で私たちの一年間の職務を終え編集員の交代期になります。

毎号編集に5・6日間委員が頭を寄せ合いましたが、皆様に解かり易くお知らせができたか、気になるところです。

しかし、議会活動を公開する議会誌の編集役割に誇りを持って、チームワークで全力投球しました。

これからも「議会ですこんにちは」をお手元においてお開き下さい。